

# 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護サービス適正事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	菊池 義博			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護（予防）サービス利用者	意図	質の高い介護（予防）サービスを適正に受けられるようにする。
事業内容	サービスの質の向上、適正化を図り介護サービス利用者を保護する。 介護相談員派遣：介護施設等を訪問し、利用者の声を聞き、市がサービス利用者と事業者の橋渡しとなる。 シルバー事業者連絡会：市内介護サービス提供事業者が情報交換や勉強会を開催し、サービスの質の向上を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	サービス利用者数 平成26年度3月利用 5,237人 平成27年度3月利用 5,149人 平成28年度3月利用 5,134人			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	介護相談員訪問事業所数	30	30	32	件	↑↑↑	
②	シルバーサービス事業者連絡会開催回数	22	28	21	回	→→		
③	介護支援専門員連絡協議会開催回数	7	8	7	回	→→		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 年々増加する要介護認定者に対して適正なサービスが提供できるように定期的にシルバー事業者連絡会や介護支援専門員連絡協議会で情報交換や勉強会を開催している。 介護相談員の派遣事業所数は事業所の閉鎖に伴い、一時減少したが、新規派遣先を打診し、平成28年度は特別養護老人ホーム2施設を訪問開始し、平成29年度から同一事業所内の訪問先拡充のため平成28年度に打診を行った。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,559,560	7,772,380	7,245,840				
事業費(b)(円)		3,333,500	3,168,120	3,047,000				
うち一般財源								
職員給与と費(c)(円)		4,226,060	4,604,260	4,198,840				
人役・職員(人)		0.61	0.61	0.61				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.01	0.01	0.01				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー事業者連絡会や介護支援専門員協議会で情報交換や勉強会を開催する。</li> <li>・介護相談員の受け入れ施設の増加を図る。</li> </ul>	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護相談員については、訪問先施設の増加と併せて、相談員のスキルアップが必要。</li> </ul>
②今年度(H28)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護相談員の受け入れ施設の2施設増加</li> </ul>	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きシルバー事業者連絡会や介護支援専門員協議会で情報交換や勉強会を開催する。</li> <li>・引き続き介護相談員の受け入れ施設の増加を図る。</li> </ul>